

## 平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

<b>施設名</b>	四日市市文化会館
<b>所在地</b>	四日市市安島2丁目5-3
<b>指定管理者</b>	<b>名称</b> 財団法人 四日市市まちづくり振興事業団 <b>代表者</b> 理事長 小菅 弘正 <b>住所</b> 四日市市本町9番8号
<b>モニタリングの実施方針・方法等</b>	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。</p>
<b>担当部室 (問合せ先)</b>	市民文化部 文化国際課 TEL : 059-354-8239 E-mail : bunkakokusai@city.yokkaichi.mie.jp

### ■ モニタリングの総合コメント

文化会館の管理運営状況については、施設の目的を十分達成し、指定管理者導入の目的である市民サービスの向上と経費の削減も果たしています。また、施設の維持管理も適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

市民の文化・教育・福祉等の増進を図るという目的に沿って、文化活動のための施設の提供・文化活動に関する情報の提供・文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。会館事務所の窓口を午後7時まで延長し、また大型コインロッカーをエントランスホールに設置するなどサービス向上に努めました。利用者数・自主事業参加者数については、不況の影響もあり当初見込みより減少したものの、管理経費についても予算の範囲内で効率的に執行されていました。

また、蓄積した事業ノウハウを市民に伝授する「お客様相談窓口」の利用促進にも努めました。業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施されました。自主事業については、平成17年3月に策定された四日市市文化振興ビジョンの基本目標と基本方向に基づき、従来の事業を生かしながら、より内容の充実に努めました。前年度に引き続き、次代を担う人材の育成に力を入れ、学校教育の中で芸術・文化に触れる機会の充実に努めるため、学び舎音楽会では学校に出向いて子供たちに生の音楽を届けたり、文化会館でのコンサートに中学生や高校生を招待したりしました。また学芸員による文化セミナーを数多く実施し、文化事業への理解を深めることができました。鑑賞型事業では特定のジャンルに偏らないよう、事業の充実に努めたものの、不況の影響でチケットの売上げが伸び悩み、入場者数は想定よりも少なくなりましたが、全体的にバランスのとれた事業展開ができ、事業数を増やすとともに内容も充実し、市民の種々の要望に応えることができましたといえます。

また、20年度からは第1ホール・第2ホール利用者にお礼状の送付と一緒に利用者アンケートを実施し、今までの来館者アンケートに加え、より広く意見を集め、改善していくよう努力している点は評価できます。

### ■ 今後の業務改善に向けた考え方

市民のための文化会館であることを第一に、利用しやすく、安全で安心な施設であるとともに、文化に親しんでいただける憩いの場となるよう更に工夫する必要があります。

施設・備品の管理状態も良好で、接客等の対応も利用者アンケートからも満足のいくものと思われます。自主事業も目標をもって行っており、地方で鑑賞しにくい公演や採算性が低く民間が取り組まない質の高い公演を実施するなど、内容も充実していたと思われます。

全体的にみて、施設の利用率も高く、利用者の満足度も高いですが、サービス対象を現時点での利用者だけにとどまらず、もっとさまざまな需要を緻密に拾って、柔軟かつ迅速に対応できる体制づくりを検討する必要があります。今年度の苦情やアンケートの意見などから改善できる部分は迅速に対応し、サービス向上に努める必要があります。

今後も長く施設を利用に供するために、市として長期的な修繕計画を作成し予算化する必要があるため、管理者として適切な提案を求めています。

## 基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

### 合目的性・公平性・効果性

市民の文化・教育・福祉等の増進を図るという目的に沿って、文化活動のための施設の提供・文化活動に関する情報の提供・文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。利用者数・自主事業参加者数については、不況の影響もあり当初見込みより減少したものの、管理経費についても予算の範囲内で効率的に執行されていました。

## 業務内容

### 機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

平成17年3月に策定された四日市市文化振興ビジョンの基本目標と基本方向に基づき、従来の事業を生かしながら、より内容の充実に努めました。前年度に引き続き、次代を担う人材の育成に力を入れ、学校教育の中で芸術・文化に触れる機会の充実に努めるため、学び舎音楽会では学校に出向いて子供たちに生の音楽を届けたり、文化会館でのコンサートに中学生や高校生を招待したりしました。また学芸員による文化セミナーを数多く実施し、文化事業への理解を深めることができました。鑑賞型事業では特定のジャンルに偏らないよう、事業の充実に努めました。不況の影響でチケットの売り上げが伸び悩み、入場者数は想定よりも少なくなりましたが、全体的にバランスのとれた事業展開ができ、事業数を増やすとともに内容も充実し、市民の種々の要望に応えることができたといえます。

### 責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営されていました。施設の維持管理についても計画通り実施されていました。

### 明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

入場料等の収入や、需用費や委託料等の支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

### 安全性（安全管理、緊急時等の対応）

事件・事故や災害等の各種対応マニュアルを作成し、訓練を実施されていました。個人情報保護についても日頃から職員研修を行い、犯罪防止・秘密保持に努めています。損害賠償責任保険の加入もされていました。

### 社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯や清掃時の節水等の省力化、廃棄物の分別化、障害者利用についての対応について、それぞれ創意工夫をして実施されていました。

## 事業収支

### 経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行されました。

## 団体の経営状態

### 経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について「事業報告書及び決算報告書」を分析した結果、特に大きな課題や問題はないと判断しました。

# 施設概要調書

## 1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市文化会館		所管課:市民文化部 文化国際課
所在地	四日市市安島2丁目5-3		設置年月:平成57年8月1日
設置目的	市民の文化、教育、福祉等の増進に資するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市文化会館の設置及び管理に関する条例		
施設の概要		敷地面積 (㎡)	20,681㎡
		延床面積 (㎡)	13,863㎡
	設備の概要	第1ホール 収容人数 1,816人 第2ホール 収容人数 609人 第3ホール 収容人数 300人 第4ホール 収容人数 400人 展示室 第1展示室・第3展示室・第4展示室・常設展示室 会議室 第1会議室・第2会議室・第3会議室・和会議室 練習室 第1練習室・第2練習室・第3練習室 リハーサル室 第1リハーサル室・第2リハーサル室 駐車場 約400台	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化活動のための施設の提供に関すること</li> <li>・文化活動に関する情報の提供に関すること</li> <li>・文化事業の企画及び実施に関すること</li> <li>・その他会館の設置目的を達成するために必要な事業に関すること</li> </ul>	

## 2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	
			計画対比
開館日数	318日	318日	0日
開館時間	9時～22時	9時～22時	
受付時間	9時～19時	9時～19時	
自主事業開催	49件	57件	

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
自主事業参加者数		21,000	13,925	△ 7,075
施設別 利用件数	第1ホール		145	
	第2ホール		197	
	第3ホール		317	
	第4ホール		632	
	第1会議室		235	
	第2会議室		585	
	第3会議室		522	
	和会議室		631	
	第1リハーサル室		544	
	第2リハーサル室		584	
	第1練習室		450	
	第2練習室		625	
	第3練習室		530	
	第1展示室		95	
	第3展示室		97	
	第4展示室		95	
合計			6,284	
施設別 来館者数	第1ホール		175,001	
	第2ホール		80,090	
	第3ホール		36,215	
	第4ホール		27,238	
	第1会議室		3,570	
	第2会議室		11,297	
	第3会議室		9,815	
	和会議室		6,548	
	第1リハーサル室		13,338	
	第2リハーサル室		13,620	
	第1練習室		8,269	
	第2練習室		7,990	
	第3練習室		7,302	
	第1展示室		47,065	
	第3展示室		19,055	
	第4展示室		11,279	
合計		520,000	477,692	△ 42,308

## 4. 事業収支

(単位:円)

項目		実施計画	実施内容	計画対比
事業収入	管理料収入	327,059,000	327,059,000	0
	事業受託収入	4,100,000	4,100,000	0
	入場料等収入	63,153,000	55,374,154	△ 7,778,846
	広告収入	5,112,000	3,494,000	△ 1,618,000
	刊行物販売収入	570,000	354,546	△ 215,454
	食堂使用料等収入	7,627,000	7,439,608	△ 187,392
補助金収入		4,020,000	4,412,300	392,300
寄付金収入		0	62,414,427	62,414,427
雑収入	受取利息	90,000	94,391	4,391
	雑収入	100,000	999,493	899,493
預金収入等		3,600,000	60,752,480	57,152,480
収入合計		415,431,000	526,494,399	111,063,399
人件費		91,463,000	107,142,877	15,679,877
管理費		289,446,000	268,566,846	△ 20,879,154
交際費		33,000	112,835	79,835
通信運搬費		2,419,000	1,561,516	△ 857,484
消耗什器備品費		100,000	352,558	252,558
消耗品費		4,979,000	4,949,471	△ 29,529
修繕費		13,289,000	8,419,129	△ 4,869,871
印刷製本費		8,202,000	6,378,679	△ 1,823,321
燃料費		136,000	98,784	△ 37,216
光熱水費		53,016,000	47,189,672	△ 5,826,328
賃借料		12,487,000	11,186,805	△ 1,300,195
保険料		605,000	361,890	△ 243,110
諸謝金		7,587,000	7,770,441	183,441
手数料		2,081,000	4,173,744	2,092,744
委託料		178,943,000	171,685,695	△ 7,257,305
広告宣伝費		4,701,000	3,820,425	△ 880,575
その他		868,000	505,202	△ 362,798
一般管理費		34,522,000	87,523,695	53,001,695
支出合計		415,431,000	463,233,418	47,802,418
収支差額		0	63,260,981	63,260,981

収入として、20年度に4事業団が統合したことにより四日市市文化振興財団からの寄付金があったため、大幅な収入増となり、全体として収支差額はプラスとなった。

平成20年度 四日市市文化会館 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	318	318	当初計画通り適正に執行された	20年度から窓口受付時間を19時まで延長し、サービス向上に努めた。	適
開館時間	9時～22時	9時～22時	当初計画通り適正に執行された		
受付時間	9時～19時	9時～19時	当初計画通り適正に執行された		
自主事業開催	49件	57件	当初計画に追加を加え適正に執行された		

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
自主事業参加者数	21,000	13,925	△ 7,075	自主事業数が少なかったのと、バレエやオペラなど的高額チケット販売数が伸び悩んだため、自主事業参加者数が少なかった。	適
施設別利用件数					
第1ホール		145			
第2ホール		197			
第3ホール		317			
第4ホール		632			
第1会議室		235			
第2会議室		585			
第3会議室		522			
和会議室		631			
第1リハーサル室		544			
第2リハーサル室		584			
第1練習室		450			
第2練習室		625			
第3練習室		530			
第1展示室		95			
第3展示室		97			
第4展示室		95			
合計		6,284			
施設別来館者数					
第1ホール		175,001			
第2ホール		80,090			
第3ホール		36,215			
第4ホール		27,238			
第1会議室		3,570			
第2会議室		11,297			
第3会議室		9,815			
和会議室		6,548			
第1リハーサル室		13,338			
第2リハーサル室		13,620			
第1練習室		8,269			
第2練習室		7,990			
第3練習室		7,302			
第1展示室		47,065			
第3展示室		19,055			
第4展示室		11,279			
合計	520,000	477,692	△ 42,308		

### 3. 事業収支

項目		実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
事業収入	管理料収入	327,059,000	327,059,000	0	20年度、4事業団が統合したことにより、四日市市文化振興財団からの寄付金があったため、収入としては、大幅に増となった。	適
	事業受託収入	4,100,000	4,100,000	0		
	入場料等収入	63,153,000	55,374,154	△ 7,778,846		
	広告収入	5,112,000	3,494,000	△ 1,618,000		
	刊行物販売収入	570,000	354,546	△ 215,454		
	食堂使用料等収入	7,627,000	7,439,608	△ 187,392		
補助金収入		4,020,000	4,412,300	392,300		
寄付金収入		0	62,414,427	62,414,427		
雑収入	受取利息	90,000	94,391	4,391		
	雑収入	100,000	999,493	899,493		
預金収入等		3,600,000	60,752,480	57,152,480		
収入合計		415,431,000	526,494,399	111,063,399		
人件費		91,463,000	107,142,877	15,679,877		
管理費		289,446,000	268,566,846	△ 20,879,154		
交際費		33,000	112,835	79,835		
通信運搬費		2,419,000	1,561,516	△ 857,484		
消耗什器備品費		100,000	352,558	252,558		
消耗品費		4,979,000	4,949,471	△ 29,529		
修繕費		13,289,000	8,419,129	△ 4,869,871		
印刷製本費		8,202,000	6,378,679	△ 1,823,321		
燃料費		136,000	98,784	△ 37,216		
光熱水費		53,016,000	47,189,672	△ 5,826,328		
賃借料		12,487,000	11,186,805	△ 1,300,195		
保険料		605,000	361,890	△ 243,110		
諸謝金		7,587,000	7,770,441	183,441		
手数料		2,081,000	4,173,744	2,092,744		
委託料		178,943,000	171,685,695	△ 7,257,305		
広告宣伝費		4,701,000	3,820,425	△ 880,575		
その他		868,000	505,202	△ 362,798		
一般管理費		34,522,000	87,523,695	53,001,695		
支出合計		415,431,000	463,233,418	47,802,418		
収支差額		0	63,260,981	63,260,981		

#### 総合コメント

運営については、事業の充実に努めたものの不況の影響でチケットの売り上げが伸び悩み、入場者数は想定よりも少なくなりました。経費については、正職員が3名退職したため、退職給与・退職給与引当金が大幅に増えた。また、チケットシステムを導入したことにより、その売り上げの6%をネット販売手数料として支払う必要があるため見込みより増加した。光熱水費・委託料・修繕費などで大幅に支出減となったものの、支出全体としては大幅な増となった。収入としては、入場料収入等が減となったが、20年度に4事業団が統合したことにより四日市市文化振興財団からの寄付金があったため、大幅な収入増となり、全体として収支差額はプラスとなった。

また、現金受払簿等の経理関係調書や領収書等の証拠書類については、適正に整理されていた。

平成20年度 四日市市文化会館 運営状況 チェックシート①-2

項目		事業分析	適否判断
利用実績		<p>自主事業数が少なかったのと、バレエやオペラなどの高額チケット販売数が伸び悩んだため、自主事業参加者数が見込みより少なかった。また、施設別来館者数は、目標値には達しなかったものの、平均稼働率はほぼ前年度と同じ高水準となった。</p>	適
事業収支	収入	<p>20年度、4事業団が統合したことにより、四日市市文化振興財団からの寄付金があったため、寄付金収入が大幅に増えた。また、正職員が3名退職したため、退職手当引当預金取崩収入などの預金収入が大幅に増えた。</p> <p>自主事業参加者数が少なかったため、入場料等収入が大幅に減ってしまった。</p>	適
	支出	<p>正職員が3名退職したため、退職給与・退職給与引当金が大幅に増え、人件費・一般管理費が大幅に増えた。また、手数料においては、チケットシステムを導入したことにより、その売り上げの6%をネット販売手数料として支払う必要があるため、見込みより増加した。</p> <p>委託料では、舞台上演料・スタッフ業務料等が見込みより少なかったのと、管理業務において入札を行ったことにより見込みより安く済み、計画を大幅に下回った。また、修繕費では、緊急性のある施設修繕が少なかったため、計画を下回った。</p>	適